

元軍人ケモミニ新妻とのイチャラブ生活

トラック1…オルとのイチャイチャえっち

…(右耳側5センチ)

・(優しく喋りかける)

・(部分囁き声)

//(ヒロインがキスをして主人公が起きた所)

ん…ちゅっ…えへへ…

あ…おはよ。起こしちゃった…?

うふふ…寝顔が可愛くって…つい、ね?

…(正面5センチに移動しながら)

・(満更でも無さそうに)

//(主人公に抱きつかれる)

もっめんってばっ

そんな抱きつかないですよ♡

えへへ…私も大好きです…

んっ…//何処触ってるのよ…もう…

うふふ…

..(右耳側0センチ)

しちゃおつか…えっち♡

うん、今日は大丈夫な日だから…

ほら…早く脱がして♡

..(正面5センチ)

えへへ…やっぱり恥ずかしい…

ちよっと…あんまりジロジロ見ないでよ…

あ、貴方でもダメなものはダメ！

もう…貴方のも脱がしちゃうからね…

よいしょと…

あ…おちんちん、こんなに大きくして…朝から張り切り過ぎよ…

うふふ…前戯とか、煩わしいわづらことしなくていいから

早く…しましょ…？

なんでって…私だつて期待してたつて言つか…一々言わせないでよ…

何よ…言いたい事があるなら言えればいいじゃない…

…やっぱり言わないで。

・(キスして黙らせる)

ん…んん、ちゅ…ん…ぷは…

言葉より 行動で示しなさいよ…

うん…早く挿れて…♡

・(挿入)

ん…んん…はあ…はあ…

えへへ…私達、朝からえっちしちゃってる…

うん、遠慮しないで沢山動いていいから…

本当に好きにしていって…

貴方に抱かれて嫌だった事なんて一回もないし…

うふふ…何喜んでるのよ。

…(右耳側0センチ)

でも、すぐに終わっちゃつのは嫌だからね…？

うふふ…頑張って♡

…(正面5センチ)

・(少し余裕があり、甘えさせてくれる感じ)

// (正常位 ゆっくり)

貴方、すごい上手になったわよね…

初めての時とは大違い…

ええ…とっても気持ちいいわ♡んっ…んん…

私の弱いところ、覚えてくれてるんだ♡

嬉しい♡

んん…はあ…はあ…貴方は大丈夫？

…ふふっ、ねえ…もっとこっちに来なさいよ。

ほーら、いいからいいから♡

…(左耳のセンチ)

えへへ…抱きつかれちゃった♡

あの体勢だと貴方が疲れちゃうでしょ？

それに…こっやって抱きついてくれた方が私は嬉しいの♡

あ…私の胸…すごい押し付けちゃってる…えへへ…♡

あれ…？ちよっと、気付きなさいよ…

貴方の大好きな私のおっぱい、押し付けてるんですけど？

ばか…沢山好きって言うてくれないと許さないから…

・(シンシンしながら嬉しそうに)

ふふ…ちよっと…必死すぎよ。

そう…まあ、私も別に…好きだし…

もう気にしていないから…そんなに言わなくてもいいって…

うう…好きだから！私も…貴方が大好き…

ほら…キス…して…？

・(キス 20秒)

…(右耳0センチ)

はあ…はあ…えへへ…動くの…ちよつと速くなつてない？♡

おちんちんもさつきより膨らんでるし、もう興奮しすぎ♡

…ねえ、もつちよつとだけ頑張つてくれる？

そっか、ありがとう…嬉しい♡

でも、我慢できなくなったら無理しないでね…

一緒に気持ち良くなりましょ♡

当たり前でしょ、私たち夫婦なんだから♡

ずっと一緒よ…最後までね♡

// (抽送 速く)

んっ…んん…うふふ…そんなに頑張っちゃって…大丈夫なの？

そっか…ふふっ、うん…とっても気持ちいい…

貴方も私を沢山感じて…ささやかですがおっぱいの感触も…えへへ…

これでも会った時よりちよつとは大きくなってるのよ？

そのままできて欲しいんだ…変な人…うふふ…

貴方ばかりおちんちん大きくして…

私の中でどんどん膨らんで…んっ…気持ちいい所沢山擦れちゃう…

おちんちん…びくびくって疼いちゃってるの…分かる…

貴方も私の体で気持ちよくなってるんだ…

ねえ…もう我慢するの辛いんじゃない？

うん、私の為に頑張ってくれて…すっごく嬉しい…

沢山私の中にお射精してね♡

うふふ…発情期じゃないんだから大丈夫だって…

はーいぎゅゝ

えへへ…もう離してあげないから♡

沢山出して？お願い♡

わ…うふふ…沢山出してくれる♡

もっと出しちゃいなさいよ、ほくらぴゅっぴゅ♡

えへへ…こんなに中出しされちゃうなんて…妊娠しちゃうそう…

別に私はデキちゃってもいいけど♡

うふふ、分かっているって、あと半年…貴方の記憶に戻るまで待つって約束だもんね。

お射精…落ち着いた？

そっか、お疲れ様。

私、とっても幸せよ…

一緒にシャワー浴びよっか。

ふふっ…朝ごはんも一緒に作ってくれるの？

ちよっとサービスし過ぎじゃ無い？とっても嬉しいわ♡

いつもありがとね、私の旦那様♡

トラック2…密着囁き手コキ

・(ちよっと物欲しそうな感じで囁いて声をかける)

…(左0センチ)

// (主人公が寝ている布団に潜り込む)

ねえ、まだ起きてるわよね…？

あ、よかった…

その…今夜は、しないのになんて…思いまシテ…

あゝそっか…今日は疲れちゃったんだ…そっかそっか…

いやいや、気にしないで…

ううん…お疲れ様、いつも私の為にありがとね…

じゃあさ、一緒に寝るのは…

やった！えへへ…

// (秘策が思いついたので少しタズラっぽく)

…ふふ、よいしょっと…

ねえ…ちよつと暑くない？

そう？私はなんか暑いな

服、脱いじゃおつかなくなんて…

ふふ…別にいいじゃない、布団の中なんだからどうせ見えないうし…♡

と言うか…もう脱いじゃってるかもね♡

気になるなら触って確かめなさいよ♡

ふふっ…^{くすぐ}擦ったい…

…ねえ、どつだった？♡

えへへ…えっちな奥さんでごめんなさい…♡

貴方は何もなくていいから…

私が勝手にご奉仕するだけ。

お願い…疲れた貴方に何かしてあげたいの…

えへへ…うん！期待しててね。

じゃあ、下だけ脱がしちゃうから…

わあ…♡えへ、えへへ…

こんなおつきくして…

もつと私を頼りなさいよ。

疲れてるってならこうやってえっち以外の事もしてあげるのに…

もう…最初はゆっくりするからね…

// (手)□キ ゆっくり

・(吐息多め)

しゅこ…しゅこ…

うふふ…なんか、昔の事思い出しちゃっわね…

初めてこういう事した時も確か手でしてあげた気がする…

ふふっ…ねえねえ？どう、私上手になった？♡

えへへ…そりゃそうよね、貴方のおちんちん、とっても分かりやすい♡

ほら、おちんちんの段差になってる所…貴方、ここすっごく弱いわよね♡

ふふっ…おちんちんちょっと跳ねた…可愛い♡

もっと沢山攻めてあげるからね…シコシコ…しゅこしゅこ…♡

// (急に抱きしめられる)

… (正面3センチ)

わわっ…ふふっ、どうしたの？急に抱きしめて…

今何も着てないのよ私？ちょっと恥ずかしい…♡

ふふっ…弱点ばかり責められちゃってヤバかったんだ…♡

もう可愛すぎよ…♡

ね、そのまま抱きしめながらさ、反対側に運んで♡

そう、そのまま横にコロンって。

∴(右0センチ)

えへへ…次はもっと優しくしてあげるから♡

じゃ、もっかい握ります…

優しく優しく…これくらいかな…

どう？大丈夫そ？

そっか、よかった。

貴方のおちんちん…とっても暖かい…お汁も出てきちゃってるし…

ふふっ…お射精そろそろしちゃう？

もうちょっと我慢するのね。うん、分かった。

我慢できなくなったら教えてね、準備するから。

何のって…内緒♡

ちょっと速くしちゃうね

//(手口キ 普通)

うふふ…貴方、とっても気持ち良さそう…

嬉しい…

私なんかで喜んでくれる貴方が大好きよ…

貴方の為だったら何だってしてあげるから…

うふふっ、本当よ…浮気だって…まあ一回だけなら別に…

ちよつと怒るけど…許さなくも無いし…

でも出来ればしないで欲しい…

あと痛いのもちよつと嫌だけど…それ以外なら！

ふふっ…なーに？

// (昔着てた服のコスプレをして欲しい)

え…あゝあれか…多分まだ残ってるけど…

して欲しいんだ…戦闘服のコスプレ…と言うか会った時は着てたけど…

まあ…うん、また今度ね、考えとくから…

おちんちん、なんかさっきより脈打ってるし…

もう出ちゃいそうなの？

うふふ…強がらないで。

それじゃあ…失礼します。

// (布団の中に潜り込む)

… (正面下5センチ)

えへへ…貴方のおちんちん、近くで見ると…結構迫力あるわよね。

お口開けて待ってるから…沢山お射精してね♡

何遠慮してんのよ…

私が貴方の精液大好きなの知ってる癖に♡

ほら、早く出して♡

あゝ…

// (射精) (ゴックン)

んんっ！ん…ん…んゝ

ふう…美味しい♡

おちんちんも綺麗にしてあげないと…

・(お掃除フェラ 20秒)

ぷは…ふふくん♪綺麗になったわね。

…(右前5センチ)

貴方…お疲れさ(ま) …

うふふっ…寝ちゃったんだ…

もう…しょうがない人♡

おやすみなさい…

トラック3…義務?手コキ(戦闘服コスプレ)

…(正面10センチ)

・(恥ずかしそうにコスプレして出てくる)

うう…またこれを着る日が来るなんて…

そんな目キラキラさせて…

マスクはって…壊れたから捨てたわよ…

まあ…やっぱり結構しつくり来るわよね。

ふふっ…カッコいい？

そう言ってくれるなら悪い気はしないけど…

／＼（オルファンと呼ばれて不機嫌になる）

む…ちよつとその名前で呼ぶのはやめて。

ちゃんとオルって呼んで、貴方が付けてくれた名前でしょ。

私にとって一番大切な宝物…

うん、分かってくれたならいいわ。

・（誘うような感じ）

それで…わざわざこんなコスプレさせて…どうするつもり？♡ふふっ…

…（次のセリフだけ右耳二元で）

えっち、しちゃうんでしょ…♡

ふふっ…やっぱりそのつもりだったんだ♡

私も…貴方と愛し合いたい…

// (違う、と言われて狼狽える)
うろたえ

え…？な、何を言ってるのよ…違うって何が違うのよ…

付き合う前の態度で、って…

無理無理！い、嫌！

貴方何言ってるか分かってるの？！

えーそりやもう覚えてますけど？

・ ()
初対面時の演技

「私、任務以外で人間と関わる気ないから」とか抜かしたり、先輩風吹かしてる

色々拗らせてたイタゝい獣人でしたけど。しかも普通に戦争犯罪者だし。

はあ…あれからまだ半年しか経ってないのよね…

…別に今でもそんなに人間は好きじゃない…

貴方が好きなのよ…

でも確かに…貴方にすぐオトとされちゃったから…

私が拗らせてた時期の印象、貴方はあんまり無いのね…

はあ…今日だけだから…絶対にもうやらないから！

一応言っとくけど…

今の私の方がその…絶対か、可愛いし…

前の態度の私なんかなんの魅力もないから…

後から文句言わないでよ。

はあ…じゃあ、始めるから…

なんか、義務で貴方の性処理する感じで…ふう…

…あゝあ、最悪…なんで私がこんな事を…

うざ…あんまり喋らないで。私、人間と喋りたくないから。

…なんか違う気がする…もう少しは可愛げがあつた気もするし…

そもそも、好きでも無い男の性処理をしるなんて言われたら絶対殺してるわよ…

はあ…もう何でもいいか…

…(正面5センチ)

兎に角、あんたの性処理をしなきゃいけなくなったから。

さっさと脱いで。

は？当たり前でしょ、何？わざわざ私が脱がしてくれるとか思ってたの？

キモ。早く脱いでよ…変態。

うわ…おちんち（ん）いや、えつと…ちんぽ？バキバキじゃん。

獣人なんかに勃起して、あんたケモナーなんだ。本当に気持ち悪い…

じゃ、適当にシゴくから。イキそうになったらちゃんと報告してよ。

//（手コキ 普通）

勝手に射精したら…ちんぽ、切り落とすから。

ふふっ…冗談だと思っなら試してみれば？

そ…まあ、別に意地悪しに來た訳じゃないし。

言うこと聞いてれば悪いようにはしないから。

あくまでこれは任務、私情は持ち込むのは三流のすることよ。

何喜んでるのよ…勝手にちんぽビクつかせてるし…

あんたさ…獣人だったら誰でもいいの？

それとも…私だから喜んでんの？

そっか…私だからか、そうよね…えへ…

あ…ふ、ふ…ん。

なに？もしかしてそう言えばご褒美でも貰えると思ったの？

残念でした…私、そんなにちよろくないから…

…ちんぽの滑りが悪くてなんかシゴきづらい。

// (唾を吐く)

ぺっ…まあ、これで少しはマシになったかな…

ばか…これはご褒美なんかじゃないし…

ただ私が任務をスムーズに行うのに必要と感ただけよ…

いいから黙ってて…あんたは大人しくちんぽシゴかれてればいいの。

すんすん…チンポ…とっても濃い雄の匂いがして…

頭がクラクラしてくる…

さっさと射精させないと、私がどうにかなっちゃいそうね。

ほら、ぎゅっと握り込んであげる…

私の唾液の粘った音がして…なんか卑猥ね。

えっ…！な、何よいきなり…す、好きって…

何あんだ、ちんぽシゴかれただけで好きとか、

短絡的すぎない？普通に気持ち悪いけど…

何よ…もう…それで口説いてるつもり？

あんだなんか私…

適当なこと言わないで…

本当に、それ以上喋らないで。頭がおかしくなりそう…

す、好きじゃないし…あんだなんかの事を全然好きになってない！

嫌い…だって変態だし…ケモノーだし…

私のことなんか好きになる時点で頭悪いし…

あーもう、うざ…さっさと射精すれば？

シゴくの、早くするから。でも、絶対に勝手に出さないでよ。

// (手コキ 早く)

ちゃんと報告して。そうすれば悪いようにはしないから…

うわ、我慢汁が…ちんぽもすっごい脈打ってるし…

本当にまだ大丈夫なの？

別に、私我慢しろなんて言っていないけど…

当たり前でしょ…何で射精させにきてるってのに我慢するのよ…

そ、射精したいんだ。いいよ。

飛び散らないように手で包んでるから。ほら、出して。

// (射精)

うう…手の中に思いつき射精されてる…

変な感じがする…はあ…

射精、終わった？

そう…まあ、あんたもお疲れ様。

…すんすん…精液、なんか臭い…

何よ？あんたの精液をどうしようが私の勝手でしょ。

// (精液を口に含むがぺつと吐き出す)

ん…あむ…むう…ぺつ…

はあ…貴方の精液…勿体ない…

で…どうだった？多分こんな感じでしょ。

昔の私…

そう…貴方が楽しかったならもういいわよ…

でも、もう絶対にやらないから！

まあその…コスプレしてえっちするだけなら別にいいけど…

…うるさい…

トラック4…岩陰でいつそり水着えっち

…(正面10センチ)

・(少し恥ずかしそうに)

//(海辺、少し張り切った水着を着ている)

お、お待ちせ…

その…どうかしら…？

似合ってるかな…貴方に喜んで欲しくて…

結構頑張って選んだのよ…？

えへへお世辞でも嬉しい。

そ、そんなにジロジロ見られたら恥ずかしいじゃない…

でも、他の子を見るくらいならずっと私だけ見てて。

ふふっ…私も貴方しか見ないから…

せつかく海に来てるってのに…私達ってほんとバカね。うふふっ…

私、ずっと海に憧れてたんだけど…貴方と一緒に見れた時から

なんか執着が無くなっちゃったのよね。

勿論今でも好きではあるんだけど…

ふふっ…今は貴方が好き♡

…(次のセリフだけ左耳二元)

あつちのさ、その岩陰…あそこなら多分誰も来ないから…

えへへ…えっちなのはお互い様でしょ？♡

うん…行こっか…

…(正面5センチ)

もう…興奮しすぎよ…私もだけど…

じゃあ、どっちゃってしよっか…

危ないしお口とか手でする…？

そっか…えっちしたいんだ…

そりゃ私だつて…でもどうするのよ…

えゝ後ろからするの…？

うう…あんまり好きじゃない、貴方の顔が見れないと寂しいんだもん…

ちゃんと寂しくないようにしてくれる？

なら…いいけど…

水着、着けたままのがいいんだ…えっち♡

じゃあ…ちよつとだけずらすから…

うう…本当に恥ずかしい…

…(左耳のセンチ)

わっ…そ、そうやって後ろから抱き着いてくれるんだ…

これなら…寂しくない…

もう…しれつとおっぱい鷺掴みにして…

私も抑えられなくなっちゃうから…早く挿れて…♡

// (挿入)

・(興奮して火照った様子)

んんっ…はぁ…はぁ…

本当に外でえっちしちやってる…

んん…はぁ…きもちいつ…♡

んっ…あっ…//はぁ…はぁ…

だめ…私、なんかおかしい…

ああ…そつか…貴方と初めてえっちしたのが外だから…

そういう性癖になちゃってるんだ…もっとうすんのよ…貴方のせいだからね！

う…た、確かに私が襲ったようなものだけど…

貴方が私の事を喜ばせすぎなの！

私の事ダメ犬にするつもりなんでしょ…♡

そんなのだめだから…ちゃんと貴方のおちんちんで騎けて♡

あっ…ああ…そこ…ほんとにやばい…♡

ご、ごめんなさい…尻尾が…

だめ…腰も尻尾も勝手に動いちゃう…

ああ…抱きしめるのずるい…

やばい…いっちゃう…もつだめ…♡

ん…んんっ！ん…うう…はあ…はあ…

…(右耳0センチ)

あ、ありがと…支えてくれて…腰抜けちゃった…

次は貴方が恥ずかしいとこ見せて♡

勿論中に出していいからね♡

一応、これでも発情期じゃないから…

これはただ興奮しちゃっただけでして…

も、もう落ち着いたから…！

ほら、貴方も気持ちよくなってる♡

ふふ…なんかゆっくりじゃない？

そっか…抱きしめながらじゃ難しいわよね…

えへへ…じゃあ私も一緒に動くから…

沢山気持ち良くなって♡

あ…水着もつとずらしちゃうんだ…♡♡

私の胸…もつ完全に外に出ちゃってる…

もう…他の人に見られちゃったらどうするつもりなの？♡

うふふっ…それは嫌なんだ。なら貴方の手でちゃんと隠しなさいよね♡

ん…手のひらサイズで悪かったわね…

ちよっと…どうしてこれで貴方が興奮するのよ…

おちんちん、私の中でどんどん大きくなってるし…

いいわよ…♡

沢山…精子どくどく中に注いで♡

// (抽送 早く)

あっ…激しっ…♡

我慢しないで♡早く出しちゃいなさいよ♡

イっちゃえ♡いいーけ♡

出—せ♡

// (射精)

あっ…えへへ…全部出していいからね…

はあ…はあ…ビュ〜ビュ〜ってすごい勢い♡

沢山出してくれて嬉しいわ。えへへ…

∴(正面5センチ)

おちんちん、キレイにしてあげるから…

// (お掃除フェラ60秒)

・ (唾えながらのセリフ)

んっ…ちよつと、おちんちん。また大きくなってるわよ？

仕方ないわね…私がこのままもう一回気持ちよくしてあげる♡

そう、お口で♡

ん…？別に嚙んだりしないわよ…もう…

えへへ…頂きます…

// (フェラ60秒)

ん…お汁が沢山出てきて…

おいしい…もっと沢山顶戴…

んっ…どうしたの？急に私の手、ギュッと握って。

あっ…うふふ…そういう事か♡

もっと激しくするね…うん、いつでも大丈夫だから…

お射精…頑張って♡

// (フェラ 激し目 20秒)

// (射精 ゴックン)

ふふ…もう出ちゃうんだ、いいよ…沢山気持ちよくなって♡

んんっ！んんっ…

えへへ…ご馳走様です。

いつもより沢山出したわね…ちよっとごぼしちゃった…

ふう…うん、貴方もお疲れ様。

あ…精液とか砂ですっごく汚れちゃったじゃない…

うふふ…貴方も一緒か。

でも…以外にこの感触が心地いい。

貴方はどうかしら…

そっか…ふふ…別に聞きたかっただけだから、気にしないで。

じゃあ…そろそろ戻ろっか♡

トラック5…嫉妬オナホコキ

…(正面5センチ)

・(言独り)

//(期待でちよっとソワソワしてる)

ふんふん♪

どれにしようかな…やっぱり可愛いやつにしたほうが…

あくでも、たまには大人っぽいやつも…何処にしまったっけ…

えへへ…最近えっちし出来てないし、

えっちな下着でも着て、いつでもおっけーですって感じ出さなきゃよね。

たまには私から誘わないと…

今着てるスポブラなんて全然可愛くないし…

ああ…どうしよ…直接聞いた方が…

// (匂いで異変に気づく)

ん…？

すんすん…何か、匂う…

他でもない彼の匂い…

でもいつもの匂いじゃない…彼が興奮してる時の…オスの匂いがする…

あ…まさか！

・ (ちよつと怒り気味)

// (主人公の部屋に入る)

.. (正面15センチ)

部屋、入るわよ…

それ、今隠した雑誌みたいなの、出して。

ふうん、獣人特集ねえ…色んな子が乗ってる…この子ちよつと私に似てるかも…

で？どの子でしてたの？

誤魔化さないで。匂いでバレバレよ…

私の事ほったらかして…一人で楽しくオナニーしてたんですよ。

それで、誰に興奮したの？

この狐の子？それともこの私みたいな雑種じゃない、綺麗な犬の子？

いいから、答えて。

その

あ、分かった。この猫の子でしょ。

ふん、可愛いね。

私と違って素直そうだし、おっぱいに関しては私なんかじゃ比べ物にならないし。

別に怒ってないですけど。

はあ…私だって分かってるわよ…たまには一人でしたい時もあるって…

でも…私のプライドが許さないの！

貴方が興奮する相手は私であって欲しいって思っちゃったのよ…

後、それはそれとして。私に黙ってこんな雑誌買ったのは許さないから。

まだ何か隠してるでしょ、出して。

…ほらやっぱり、布団でサッと隠しちゃって…

…(正面5センチ)

って…何よこれ！

え…ええ？何か変な物が…

これ、何に使う道具なの？教えて。

おなほーる…へえ、おちんちんを気持ち良くする為の、

偽物のおまんこなんだ。

私なんかよりずっと可愛い女の子とエッチする妄想、楽しかった？

…この穴におちんちんを差し込むのね。ふん…

じゃ、始めよつか。

私がオナホでシゴくから。

他の女の子で勃起した浮気おちんちんなんか直接触りたくないし。

浮気精液全部捨てちゃうからね…

おちんちんを…こう…差し込んで…

// (オナホコキ)

あつ…凄い…簡単に入っちゃった…

後は本当のえっちみたいに上下に動かすのよね。

こう…ジュぽ…ジュぽって…

イヤらしい音…

そんなに気持ち良さそうな顔して…

ねえ、流石に偽物なんかより私の方が気持ちいわよね？

…なんで即答してくれないのよ…

偽物なんかと違って、貴方専用なのよ…？

長く楽しんで欲しいから手加減してあげたり…

射精して欲しい時はぎゅって締め付けてあげてるんだから…

こんな偽物より絶対にに決まってるじゃない。このバカ…

あ、腰動いちゃってるじゃない…

あゝあ、何か悲しくなっちゃった…

私の事好きとか言ってたくせに、

本当はおっぱいの大きい子が好きなんですよ。

どうせ私なんて貧相な体で顔も全然可愛くないですよーだ。

・(少し寂しげに)

でも…貴方への愛情だけは誰にも負けないから…

その…私の事も…ちゃんと見て欲しい…

別に謝って欲しいわけじゃないの…

／（主人公がヒロインの下着を差し出す）

え…？それ、私の下着…どうして貴方が…

そっちがオカズだったの…？

じゃ、じゃあこの写真集は…

わ、私に似てる子がいたからつい…って…

そ、そっか…そうだったんだ…

なら最初からそう言えばいいじゃない…

変な所で恥ずかしがらないでよ…ばか…

誘ってくればよかったのに…

いや…甘えすぎよね。私からも誘わないと。

ごめんなさい、貴方は確かに押し付けちゃって…

今日はこのままオナホでちゃんと気持ち良くしてあげるから♡

こう…おなほーるも力加減すれば貴方に合わせてご奉仕できるのね…

じゃあ…ぎゅって握り込みながらぐぽぐぽすれば…

わ…凄いおちんちんの感触が…オナホ越しに伝わって来ちゃう…

頑張って我慢してるのかな…可愛い♡

私のおまんこだって思いながらしてくれてるの？♡

嬉しい♡それならさ…

腰振ってよ♡いつもみたいに私の事気持ち良くして♡

そう…上手よ♡うふふ…

しつから手で持ってるから…頑張って突き上げて♡

いいなあ…貴方に突いてもらえるオナホが羨ましい♡

はあ…はあ…って私だったら絶対に声我慢でなくて漏れちゃうわよ♡

ん…どうしたのよ？そんな物欲しそうな顔して…

// (オカズが欲しい)

え…え…もつと興奮したいんだ…そっか…

もう十分おちんちんおっきくなってる気がするけど…

じゃあさ…私の下着…見る？

あ…やっぱ無し！

今着けてるのは全然可愛く無いやつだからその…

うう…そんなに見たいの…？

はあ…特別だからね…

// (上着を脱ぐ)

よい…しよつと…

うう…よりによつてこんなスポブラ着けてる日に…
つて…そんなにガン見されたらちよつと怖いわよ…

.. (正面上0センチ)

喜んでくれてるならいいけど…

ねえ…顔すつごい近くない？

んっ//…今ちよつと当たったでしょ。

もう…えっち…

別に触っていいから…私はあなたの物なんだし…

でも…乱暴にはしないですよ…

じゃあ…私はオナホでシコシコしてあげるから…

うふふ…ちよと擦こすりたい…

・(我慢できずに声が漏れる)

ん…んっ…
//

えっ？あ…いや…別になんでもないから…

その、ちよつと触り方が…

あっ//…うう…そ、それはダメだって…

ち、乳首カリカリするのは

声…出ちゃう…はあ…はあ…

もう…貴方がいつも触ってくれるから敏感になっちゃったのよ…

// (胸から手を離す)

あっ…やめちゃうの？

え…ちよ、ちよつと！ああ…
//

直接触っていいなんて言っていないのに…んっ
//

いきなり手を突っ込むなんて…

貴方の指の感触が…はあ…直接感じちゃって…

んっ…ちよつと興奮しすぎよ…

ほら、一回離して。はあ…

ふふ…そんなに残念がらないで…

ねえ…直接…見せてあげよつか…？

えへへ…見たいんだ。それじゃあ…

もう勝手にオナニーしないって約束してくれるなら見せてあげる♡

えゝ本当？

うふふ…分かったって…約束よ…？

ほら…貴方の手で外して♡

え…付けたまま、上にたくし上げるの…？

わわ…なんか変態みたいじゃない…

うう…流石に恥ずかしい…

え…綺麗…？う、うーん？

それは…どうも…

いや嬉しいは嬉しいけど、胸が綺麗って言われても反応に困るわよ…

まあ…小さいなりに形は整ってるし、乳首も薄いピンク色で綺麗と言われればまあ…

それはそうかなって…

何言わせてんのよ…

ほら、見てるだけでいいの？触るなり揉むなりしなさいよ…

え、吸いたいの？

// (しゃぶられる)

あっ／＼んっ…うう…

もう…赤ちゃんみたいに吸い付いて…

美味しいんだ…そっか…美味しいなら仕方ないわよね。

んっ…先っぽだけぺろぺろしちゃ…

うう…恥ずかしい…

わ…貴方のおちんちんすっごい痙攣してる。

… (左耳のセンチ)

出ちゃいそうなの…？♡

ふふ…うん、いいよ。

沢山気持ちよくなってる♡

じゃあ…もっぎゅっってオナホで締め付けちゃうから…

えへへ…だーめ♡もう手加減してあげないからね♡

はあ…はあ…って声漏れちゃってるわよ♡

貴方をこんなに気持ちよくしてあげられるなんて…

少しオナホに妬いちゃいそう…

あ…もうだめなんだ♡

それじゃ…お射精、頑張つて♡

はーい。ぴゅっぴゅっ

// (射精)

うふふ…中出しまでして貰えるなんて…

本王にオナホに嫉妬しちゃいそう♡

次は私にしてね？♡

じゃあ、綺麗に拭いてあげるから…

わ…すっごいドロドロね…

あ、ちよつとおちんちに精液が残ってる…

勿体無い…

・(少し落ち着いて)

ふう…その、さっきはごめんなさい、貴方にもプライバシーがあるのに…

どうしても…寂しくて…

もしムラムラしちゃったなら私を頼りなさいよ…

私としたいって言うなら絶対断らないから！

うん…ありがとう、大好きよ…

あと、その下着…欲しいならあげるけど…

…(右耳0センチ)

私に着せた方がいいんじゃない？♡

トラック6…発情えっち

…(正面15センチ)

・(発情期で緊張したような感じ)

//(吐息を漏らしながら誘いに来た)

ねえ…貴方…

遂に来ちゃったの…その…発情期…

ああ…もつだめ…我慢できない…！

…(右耳0センチ)

すんすん…貴方の匂い…えへへ…はあ…すんすん…ふう…

お願い…抱いて…

今まで薬で抑制してたから…

反動で…

お願いだから…嫌いにならないで…こんな私でも愛して…受け入れて欲しい…

や、やった…！大好き！本当に大好きよ♡えへへ…

…(正面5センチ)

は、早くしましょ？あまり焦らさないで…

ほら、避妊具…前買ったやつ残ってるから！

早く着けて！

もう、遅いわよ…私が着けてあげる…

服…邪魔…私も全部脱ぐから、ほら貴方も！

えへへ…貴方のおちんちん…♡

すんすん…ああ…やばい…おかしくなっちゃいそう…

は、早く着けてあげないと…

こう…かしら…ちょっと難しい…練習したんだけどな…

で、できた！

// (押し倒す)

.. (正面5センチ)

えへへ…今日は私が上ね！もう、挿れちゃうから…

// (挿入) (抽送ゆっくり)

ああ…ん…んんっ…

ずっと欲しかったやつ♡だめ…力抜けちゃう…

…(左耳のセンチ)

はあ…はあ…ごめんなさい、手加減できそうにないみたい…

今もぎゅつぎゅつ締め付けて…貴方のおちんちんいじめちゃってる…

だ、大丈夫…ゆつくりするから…

// (抽送 ゆつくり)

・(かなり火照った様子で喘ぐ)

ああ…うつ…ふうーふうー…

ありがとう…私…もう一人じゃないんだ。

んんっ…はあ…はあ…んっ…うう…

ねえ…本当に嬉しいしすごく満たされてるんだけど。

本当の私も見てほしいの…

尻尾の付け根…さすって…

そうすれば…私…理性…なくなっちゃうから。

別にこれはお願いじゃないの…

ただ、もし貴方が本当の私を見てくれるなら…

私から理性を奪って？♡

// (摩る)

・ (嬉しそうに)

あっ…えへ…えへへ…

ありがとう…私、もう取り繕わないから♡

はあ…はあ…で、でも最後に忠告しておくけど。

絶対に私の言う事聞かないで。

こうなっちゃうと何しちゃうか分かんないのよ…

発情期の獣人ってすごい簡単に妊娠しちゃうから…

ん…もうだめ…んん…貴方がちゃんと…躡けてね♡

・ (酔っ払っているイメージ、甘えん坊)

ああ…す、好き♡えへへ…ねえ、ちゅっしょ？♡

してくれないの…？えへへ…やった♡

ん…

// (激しいキス15秒)

えへへ…幸せ♡

貴方も…？

えへへ…腰…止まらない♡

ぱんつぱんつて激しく打ちつけちゃおう♡

うわぁ…♡おちんちんがすごい震えてるの。わかるよ♡

もうお射精しちゃうの？もうでも仕方ないか、こんなにぎゅっぎゅっ締め付けて、

しかも激しく腰振られちゃってるんだもん♡

いいよ…沢山出して…はっいピュっピュっ♡

// (射精)

:: (正面5センチ)

えへへ…たっくさん出したね♡

一回おちんちん、お外に出してあげよつか。」

わぁ…ゴムがタプタプになっちゃってる♡

…んゝ、ねぇ…もう一回、もう一回しよ♡

だめなの…？

私…もつと貴方と繋がりたいな…

頑張ってくれるの？えへへゝ大好き♡

ゴム…新しいの着けてあげるねゝ

つて、あれ？空っぽだ…

練習で何個が使っちゃったからだ…

ねぇ…生で…しよ？

中に出さなかったら大丈夫だって！

お願い♡

えへへ…早くしちゃお♡

次は貴方が上になってくれるの？

えへへ…うっかり中に出しちゃったら大変だもんね♡

うん、任せる…

// (挿入) (ゆっくり)

んっ…あ…はあ…はあ…

声…我慢できない…

貴方のおちんちんの感触がさっきより…

はつきり伝わって来ちゃっ♡

はあ…幸せ♡♡

ねえ…頭撫でて♡

えへへ…もっとして♡♡

もうたーくさん甘えちゃっ♡

んん…優しくゆっくりしてくれるのもいいけど♡

もっとうしくして欲しいな♡

あゝそっか…貴方が危なくなっちゃうんだ…

えへへ♡可愛い♡♡

んん…でも…ちよつともどかしい…

ね、すこっしだけ早くしよ♡♡

そう！ちよつとだけでいいから…

// (抽送 徐々に早く)

あつ…ん…いい…いいけど

もつと激しいのがいいな♡

えへへ…うん、すごい気持ちいい♡

あつ…ん…はあ…はあ…

貴方がぱんぱんって突いてくれる度に、

体、すごい揺さぶられちゃってる…

おっぱいもちよつとだけ揺れて…えへへ…小さいからちよつと地味だけど。

む…ちよつと。胸ばかり見ちゃだーめ。

ちゃんと顔を見ながらえつちして。

そう言えば私の顔の感想、まだ聞いてないけど。

ねえ…どつなの？

// (可愛いよ)

・(ちよつと恥ずかしがって)

嬉しいけど…なんか適当な感じでやだ。

どつという感じで…可愛い…の？

そ、そんなに困らないでよ！

どこ寝めてくれてもその…全然嬉しいから…

・（冷静を装おって）

ふん、そうなんだ。

まあ…そんなところよね。うん。

え…あつ！尻尾が暴れちゃってる…！

こ、これはその…

ちよつと黙ってて…

//キスして誤魔化す 15秒

..（左耳0センチ）

んっ…はあ…はあ…だめ…だつて嬉しすぎるんだもん…

ほら…ぎゅっしよ？

好き…だーい好き♡

えへへ…貴方に私のおっぱい押し潰されちゃってる…

ほら…もつと密着しよ…

んんっ…これ…すっごくいい…

私の気持ちいいところ…沢山当たってる…

貴方は…ふふ…そんなに喘がれちゃったら嫌でも分かっちゃうわよ…

おちんちん…凄い震えて、とつても苦しそう…

…(右耳0センチ)

えへへ…もつぴゅっぴゅっしそうなんだ♡

いいわよ…このまま出しちゃいなさいよ♡

ふ…んダメなんだ？

貴方、責任も取れないのに生のおちんちん入れちゃったんだ。

ふふふ…でも残念でしたゝ

一回お射精して精液が残ったおちんちん生で入れちゃったら

もう絶対妊娠しちゃうに決まってるじゃない♡

えへへ…だから発情期の獣人を信用しちゃダメって言ったじゃん♡

だからさ、今更外に出しても仕方ないんだし、中出ししちゃお♡

うん！沢山出して…

わっ…激しい…んっ…ああ…耳触っちゃ…あっ…

もう私が耳弱いの知ってるくせに…

ちよっと…一回触ったなら最後まで撫でて…

ん…ああ…だめ…いつちやいそう…

ね…一緒…一緒がいい…うん…もう…だめそう…

貴方も一緒に気持ちよくなろ…うん…私も大好きよ…♡

// (射精)

ああ…出てるの…分かる…えへへ…沢山出してね…

はあ…はあ…ありがとう…もう幸せでいっぱいだよ♡

そっか…疲れちゃったんだ…うふふ…お疲れ様

このまま…おちんちん挿れたまま寝ちゃっていいから。

うん、お休みなさい。ありがとうね♡

・ (正気に戻る)

.. (正面5センチ)

ん…あつ…彼、寝ちゃってる…

えへへ…やっぱり可愛いわね…

ふふ…もう…おちんちん挿れっぱなしじゃない…

つて…え、嘘…

な、なんでゴム付けてないのよ…！

ああそつだ…私がやつちやつたんだ…

こんなに沢山出して…

絶対赤ちゃんできちゃうじゃない…

はあ…でも、貴方の子…か…

産んであげたいな…いや…産みたい…

貴方と作る家族が。

うふふ…私が親になるなんて…

私一人じゃ絶対に無理なんだから…

頼りにしてるわよ…私の王子様♡

トラック7 オルとのこれから

／（前トラックから1ヶ月程度経過）

・（日常会話）

あ、あれゝおかしいな…

発情期中出ししてもらったから絶対デキちゃうと思ったんだけど…

うん…今回はできなかったみたい。

ちよつと残念…

私の体がまだ未熟だったのかな。

私、自分の年齢もよく分からないのよね。

／（孤児って大変だね）

うん、捨て子の獣人なんてそんなものよ。

流石にもう成人してると思うんだけど…

発情期が来るようになって何年か経ってるし…

ああ…そう言えば発情期を抑制する薬…一番安いやつにしてたせいかも…

今考えるとそういう大切な薬に粗悪品を使っって相当よね。

…貴方と同棲してからは飲んでないわよ…貴方の赤ちゃん欲しいし…

はあ…でも、別にいいわよね！

二人だけの時間がちよつと伸びただけよ！

元々貴方の記憶がちゃんと戻ってからの予定だったし。

・（冗談）

もし貴方が妻子持ちだったり彼女さんがいたら大変だし。

うふふ…なーんてそんな訳ないわよね！

だって私は貴方に会うために生まれてきたに違いないもの。

貴方も…そうあつて欲しい…

ちよつと、目線が泳いでない？

一応言っとくけど、何があつても絶対に貴方の側から離れないから。

そう貴方が約束してくれたじゃない。

うん、これからもずっと一緒よ。

世界で一番愛してるからね、あなた♡

ボーナストラック…オルの胸元

..(正面15センチ)

・(ちょっと心配した感じ)

ねえ…どうしたの…？

そんな浮かない顔して…

もう…無視しないで。ちょっとこっち来なさいよ。

..(正面5センチ)

・(優しく慰めてあげる)

ほら、何も聞かないから。顔、ちゃんと見せて。

はあ…こんなにやつれちゃって…

よいしょど。

ほら、貴方も座って。

なんでもいいでしょ。早く座りなさいよ。

うふふ…おいで。抱き締めてあげるから、私の胸に顔埋めちゃいなさいよ。

何恥ずかしがってるんのよ。私と貴方の間に遠慮する物なんて無いに決まってるでしょ。

…(正面上5センチ)

・(行毎のセリフの間隔は長め)

※(収録可能でしたら30秒ほどの心音)

うふふ…しばらく、こうしてよっか。

なんだか…貴方が名前をくれた時の事を思い出しちゃっわね…

うん、今でも鮮明に覚えてる…そしてこれからも絶対に忘れない。

あの時はただ胸を借りることしかできなかったから…

こうして貴方に胸を貸すことができて、少し嬉しい。

ええ…何も聞かないわ。

勿論貴方が話してくれるなら絶対に聞くけど…

そうじゃ無いなら、そこには踏み込まないから。

ごめんなさい、あまり器用に出来なくて…

ただ…貴方が一人で抱え込むって事には絶対したくないの。

私はいつでも貴方の側にいるわ…

そして、貴方の抱えてる物も…絶対一緒に持ってあげるから。

// (離れようとする)

うふふ…だーめ。いいから、もう少し一緒に居て。

ここなら誰も邪魔しないわよ。

誰にだって、絶対に邪魔させないし、貴方を傷付けさせない。

もし貴方が本当に苦しんでるのなら…

私が全部壊すから。

本当に不器用でごめんなさい…

もし私じゃ貴方の心の拠り所になってあげられないのなら…

せめて私の得意な事で、貴方の為になりたい。

あなたのお陰で少しは変わったのかもしれないけど…

今でも私は、作る事より壊す方が得意なの。

貴方のオルになったけど、貴方が望むなら…

いつだってオルファンに、私は戻るから。

壊そっか…貴方の悩み、苦しめる全部を…

そう…まだ、頑張るの？

偉いわ…私なんかとは大違いね。

やっぱり私の旦那様はとっても素敵。

得意な方…楽な方に私は逃げちゃうから…

苦しくても、苦手なことでも逃げない貴方が眩しい…

でも、無理は…しないでって言っても、貴方はしちゃっわよね。

じゃあさ、せめて毎日私の所に…こうやって胸元に来なさいよ。

勿論、その…そういう気分の日なら抱いてくれればいいし…

そうじゃない、ちょっと落ち込んだ日なら、私が受け止めたい。

それに…本当に限界なら、そんな物、私が壊してあげる。

ふふ…立派ね…

ちよつと落ち着いてきたの？

そつか…本当に良かった…

でも、まだ私の胸元から離れちゃダメよ。

いつまでかしらね…私にもわからないわ…

別に永遠でも…私は構わないけど。

きっと、貴方が本当に立ち上げられるようになった時よ。

でも、そのまま寝ちゃってもいいんじゃない？

ずっと側にいるからね…

ええ…おやすみなさい。

愛してるわ…あなた…